



私のおばあちゃんの家の最寄りの駅は、阪急京都線の洛西口駅です。この洛西口駅付近で、高架化工事が現在行われています。何のために高架化工事をするのか、高架化工事が完成するとどのような変わるのかについて取材し調べました。

踏切では渋滞発生!!

洛西口駅の横には久世北茶屋線という片側二車線の大きな道があり、現在は踏切で交差しています。朝の通勤ラッシュ時間帯は電車の本数も多く、踏切が開まっている時間も長く、また車の量も多いため、踏切の所で大渋滞が発生します。朝7時から8時までの一時間に踏切が開き



34分間も閉まっている!!



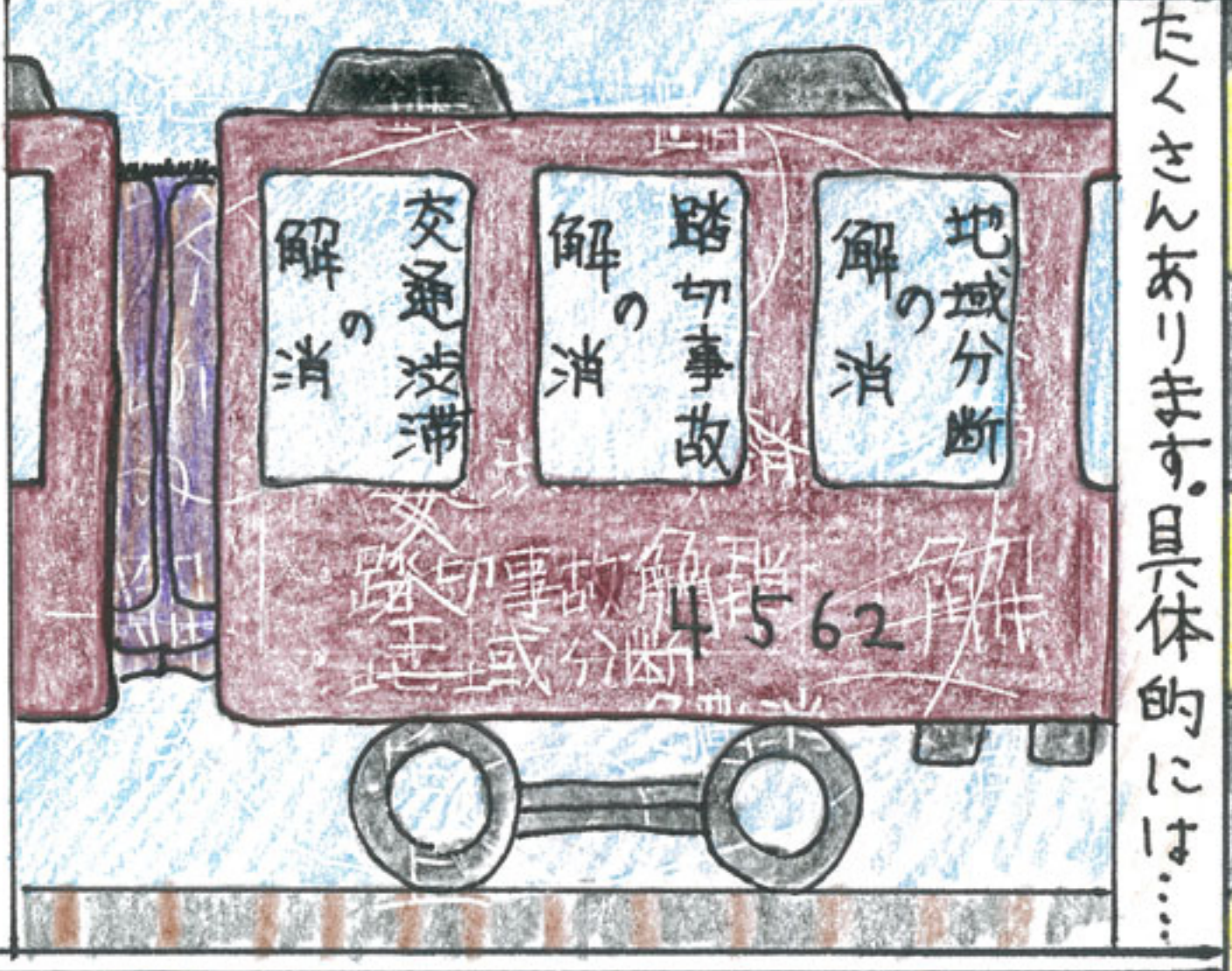
ある時間を調査するとなんと合計で33分56秒間も閉まっています。一回で270秒間も閉まっている時もありました。渋滞も長い時には30分にもびまいました。渋滞は地球温暖化にも影響をします。

現在行われている高架化工事が完成すると、3ヶ所の踏切がなくなり、それにより多くの渋滞が解消され、地球温暖化防止にもなります。それ以外にも高架化によって良くなること



No.	警報器鳴り始め			鳴り終わり		
	時	分	秒	分	秒	秒間
①	7	1	45	2	46	61
②	7	6	8	9	11	183
③	7	9	17	10	42	85
④	7	12	34	13	58	84
⑤	7	15	12	16	20	68
⑥	7	16	37	18	8	91
⑦	7	21	15	22	45	90
⑧	7	23	15	24	23	68
⑨	7	24	39	26	41	122
⑩	7	26	48	28	12	84
⑪	7	29	9	30	45	96
⑫	7	32	33	33	55	82
⑬	7	34	24	35	47	83
⑭	7	37	9	38	50	101
⑮	7	39	55	42	48	173
⑯	7	45	5	46	43	98
⑰	7	48	30	53	0	270
⑱	7	56	3	57	59	116
⑲	7	58	20	59	41	81
合計	2036秒間 = 33分56秒間					

2013年 8月
立命館小学校
5年 R組
石原 有珠



高架化はいいことばかりだけど... 工事は大変!!

高架工事は大変です。電車を通り運行させながら工事を安全に進めなければいけません。今回の工事も全長600mの高架工事ですが、平成19年から始まっています。まず、もともとある線路の横に仮線路を作り、もともとあった線路を撤去。そこに高架を作ります。まずは上り線だけが高架になり、実際に運用されます。これが今年の10月26日からです。その後、下り線の高架工事を進め、完成すれば上下線が高架になります。それから仮線路の撤去という順に行われ、全て終わるのは平成27年度だそうです。

洛西口駅の駅員さんに、高架工事の苦節点、新しい駅についてインタビューしました。

Q. 高架工事により、苦節点がある所は何ですか?

A. 上り線、下り線それぞれで改札口が別なので、お客さんが迷われたり間違えることです。

Q. 新しい駅について教えてください。

A. きれいなことはもちろんですが、お客さんにやさしい便利な駅になると思いますよ。

感想) 高架化は費用も時間もかかるけれど、完成すると安全で快適で環境にも優しいということがよく分かりました。ほんのほんが、いいと思います。



今回の高架工事により、洛西口駅も高架駅となり、新しく生まれ変わります。